

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	027 文書等の收受・集配事業							
戦略プラン					担当部課 係名	総務部すぐ対応室		
総合戦略					新規・継続	移管		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-020101-12 通信運搬に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分		事業期間	令和元年度～令和 2年度			<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行		
						<input type="checkbox"/> 評価・検証		
根拠法令	つくば市行政文書管理規程				事業体制	職員のみ		
					市長公約			
概要								
事業の目的					事業の概要			
<p>市へ届いた郵便物等の適正な收受及び各課への迅速かつ確実な配布を目的とする。</p> <p>各課から発送される郵便物の請求を一括処理することにより、郵便料金の把握及び経費削減を図る。</p>					<p>・市へ届いた郵便物及びメール便を到達日で適正に收受し、本庁舎文書集配室内各部ボックスへ配布する。</p> <p>・本庁舎と各窓口センターとの間を1日1回巡回し、文書集配を行う。</p> <p>・予算を保有する課へ支出伝票の作成を依頼する。</p> <p>※H30年度まで総務部総務課で事業を実施</p>			
評価								
事業計画					活動実績			
<ul style="list-style-type: none"> 事務執行に必要なメール便（特定個人情報を含む）を運行 年間約30万通の郵便物を受領、文書集配室から各課へ配布 茨城県庁宛て郵便物については、一括配送を行い、郵便料の節減に努める。 郵便料金の集計作業日数36日（毎月3日程度）、毎月各課等支払分を担当課等へ振り分ける（12回） 					<p>事務執行に必要なメール便（特定個人情報を含む。）の運行を実施した。年間約30万通の郵便物を受領し、すぐ対応室から各所属部署へ配布した。</p>			
成果					課題			
郵便物等が一時的に増大することはあったが、適宜対応し各所属部署に滞りなく配布することができた。					今後、郵便局による集荷サービスが終了する可能性があり、その対応策について検討の必要性あり。			
改善目標（R02年度にむけて）								
増大する郵便物等への対応職員数増についての検討の必要性								
指標の推移								
1	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	12,767	6,954	14,837	0
事業費計		(千円)	12,767	6,954	14,837	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	2.20	1.80		
		時間外勤務 (時間)	86.00	76.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	15,740	12,397		
事業コスト		(千円)	28,507	19,351		

R02年度当初積算根拠

【需用費】
事務用消耗品 25,080円 電気用消耗品 2,310円
後納郵便用の差出票の印刷 単価220円×100冊×1.10=24,200円

【役務費】
料金後納郵便料 14,546,382円 (予定額調査結果)
料金不足郵便対応・臨時便対応切手・レターパック代
・切手 月35件×料金不足額84円/12か月=35,280円
・レターパックライト 370円×3個/月×12か月=13,320円
・レターパックプラス 520円×1個/12か月=6,240円

【備品購入費】
超高速2次元バーコードスキャナー 1台×44,000円×1.10=48,400円
電子天秤 1台×260,400円×1.10=286,440円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	037 スズメバチ駆除業務委託事業								
戦略プラン					担当部課 係名	総務部すぐ対応室			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	01-020101-18			すぐ対応室に要する経費					
要求区分		事業期間	令和元年度～令和 2年度						
個別計画	スズメバチ営巣駆除							市民参加	
									<input type="checkbox"/> 共有、理解
									<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画
									<input type="checkbox"/> 実行
根拠法令								事業体制	全て委託
								市長公約	
概要									
事業の目的				事業の概要					
スズメバチの巣を駆除することにより市民の安全・安心を確保し、生活環境の向上に寄与する。				・市民からのスズメバチ営巣の駆除依頼に対し、外部の専門業者に委託することにより駆除を行う。					
評価									
事業計画				活動実績					
・受付時における説明を的確に行い、委託業者への手配を速やかに実施することで、スズメバチの営巣の駆除や現地調査を早急に終了させ、市民の安心安全な生活を確保する。				スズメバチ営巣駆除実績件数 499件 調査件数128件					
成果				課題					
スズメバチの営巣を駆除することにより、市民の安心安全（アナキラフィシーショックの防止等）を確保し、生活環境の向上に寄与した。				現在はスズメバチの営巣駆除のみを行っているが、スズメバチ以外のハチについても営巣駆除の要望が多い。 また、4月に入ると営巣駆除の要望があるが、予算執行後の委託契約では、年度当初から事業を開始することができない。					
改善目標（R02年度にむけて）									
債務負担行為により、令和2年度当初から、委託事業が行えるように対応するとともに、スズメバチ以外のハチを含む、全てのハチ営巣を対象とした駆除を専門業者に委託する。									
指標の推移									
1	指標名	スズメバチの巣の駆除委託 (件)					活動指標		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	889.0	422.0	499.0	0.0	
	指標の概要	市民の要望に十分に対応することができた。							
2	指標名	()							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	7,384	5,162	6,305	0
事業費計		(千円)	7,384	5,162	6,305	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	3.00	1.85		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	21,171	12,549		
事業コスト		(千円)	28,555	17,711		

R02年度当初積算根拠
 ・消耗品費 177千円
 ・ハチ駆除業務委託料 6,050千円
 ・一般事務用備品 78千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		